

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

| 達成度(評価) | |
|---------|---------------|
| A | : 十分達成できている |
| B | : おおむね達成できている |
| C | : やや不十分である |
| D | : 不十分である |

| | |
|------------------|--|
| 学校名 | 唐津市立外町小学校 |
| 1 前年度 評価結果の概要 | <ul style="list-style-type: none"> 自らの夢や目標に向け努力する児童の育成を推進するために、地域の人材も活用し、学年に応じたキャリア教育を計画し、志と地域を誇りに思う心を高める教育の充実を図る。 保護者アンケートの結果より、今年度は、特に「温かい雰囲気」の学級づくり「やさしい言葉遣い」「夢や目標に向けて努力する」に重点を置いて取り組む。 校内研究のより一層の充実を図る。一人一台タブレット端末の活用を重点を置き、グループワークやクラスワークの場面で話し合いの持ち方とタブレット端末の活用法に焦点を当てて校内研究を深める。 児童が安心・安全に学校生活を送ることができるように安全教育・防災教育の充実を図る。火災避難訓練や不審者対応避難訓練、地域防災訓練等を、家庭・地域と連携して計画的に実施する。 若手教員が年々増えてきているので、初任者指導教員や初任研コーディネーター、初任者メンター、中堅教員等に働きかけ、若手教員向けの研修とメンターミーティングの充実を図る。 |
| 2 学校教育目標 | 「やさしい」「かしこい」「たくましい」外町っ子の育成 ～ 子どもが笑顔で登校、満足で下校する学校 ～ |
| 3 本年度の重点目標 | <p>①「やさしい子」→思いやりの心をもち、友達と共に高め合う子の育成 ②「かしこい子」→目標をもち、学ぶ楽しさを味わう子の育成 ③「たくましい子」→健康な心と体をもち、粘り強く取り組む子の育成</p> <p>○児童一人ひとりの人権尊重を基本とし、これからの社会の変化に主体的に対応できる、知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かな児童の育成</p> <p>○成就感や自己肯定感を高める教育の推進</p> |

| 4 重点取組内容・成果指標 | 中間評価 | 5 最終評価 |
|---------------|------|--------|
|---------------|------|--------|

| (1)共通評価項目 | | | | 中間評価 | | 5 最終評価 | | | | 主な担当者 |
|--------------------|---|--|---|-------------|----------|-------------|------|---------|-------|-----------------------|
| 重点取組 | | | 具体的取組 | 中間評価 | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | | |
| 評価項目 | 取組内容 | 成果指標 (数値目標) | | 進捗度 (評価) | 進捗状況と見通し | 達成度 (評価) | 実施結果 | 評価 | 意見や提言 | |
| ●学力の向上 | ○全職員による共通理解と共通実践 | ○学力向上対策評価シートの成果指標を達成した教師80%以上 ○図書室の貸出目標冊数を達成した児童85%以上 | <ul style="list-style-type: none"> 学力向上対策シートを用いた研修を行う。 全国及び県の学習状況調査の結果の共有・改善のための職員研修を行う。 朝読タイムなど、児童が本に触れる時間を意図的に設定する。 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 学力向上コーディネーター 学習部 |
| ●心の教育 | ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 | ○生活ハッピーアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒80%以上 | <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して、「自己肯定感の高まりから自他への思いやり」につながるハートフルタイムを年3回設定する。 道徳に関するアンケートや、生活ハッピーアンケートを実施し、実態把握を行う。 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 道徳教育推進教員 人権・同和教育担当 |
| | ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 | ○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等)について組織的対応ができていたと回答した教員95%以上。 | <ul style="list-style-type: none"> 毎月1回、いじめの早期発見につながるアンケートを実施する。 毎週1回、児童の情報共有の時間を設定する。 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 教育相談 |
| | ●◎児童生徒が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。 | ●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒85%以上。 ●「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業や学校行事等を通して、児童が夢や目標について自ら考える時間を設ける。 児童を称賛する場面を多く設定し、自尊感情を育てる。 計画的に、学年に応じたキャリア教育を計画する。 キャリアパスポートの活用を継続し、将来の夢や目標を考えさせる。 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 特別活動部 生活指導部 |
| ●健康・体づくり | ○児童が毎日笑顔で登校、満足で下校する学校づくり。 | ○「学校は楽しい」に肯定的な回答をした児童80%以上。 | <ul style="list-style-type: none"> 職員全体で全児童を見る体制づくり。 児童の「楽しい」を掲示などで具現化する。 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 管理職 |
| | 次の中から1つ以上を選択 ①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ③「安全に関する資質・能力の育成」 | ①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒75%以上 ②「健康に良い食事をしている」児童生徒80%以上 ③児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする | <ul style="list-style-type: none"> ①場や道具を整えた上で、体育委員の活動を通し、休み時間に意欲をもてるチャレンジコーナーを作り、掲示する。 ①「さがんキッズスポーツチャレンジ」の取組を推奨する。 ②計画的に食育に取り組み、食の大切さを学ぶ機会を増やす。 ③年間を通して、地域の方々とともに、職員も輪番で交通挨拶指導を行い、児童の安全意識を高める。 ④学年の実態に応じた交通安全教室を計画し、実施する。 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ①②保健体育部 ③生活指導部 |
| | ○予期せぬ自然災害から、命を守る行動がとることができる児童の育成。 | ○非常時に「命を守るためにどうすればいいか分かる」と答える児童80%以上 | <ul style="list-style-type: none"> 計画的な避難訓練、防災教育を行い、職員と児童が共通認識の上で危機意識を高める。 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 生活指導部 管理職 |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 | ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 | <ul style="list-style-type: none"> 通勤時刻の設定をする。 ※月～木2.5時間/19:10 金1.5時間(18:10) 必要な会議、連絡会の精選や、計画的・効率的な運営・ペーパーレス化を推進する。 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 管理職 |
| | ○業務改善への意識向上 | ○1年間で業務改善の取り組みを3回以上行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 業務改善やライフワークバランスに関する研修を行い、意識向上につなげる。 年休を取得しやすい雰囲気づくり。 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 管理職 |
| ●特別支援教育の充実 | ○教員の特別支援教育への意識の向上と支援のあり方の理解。 | ○特別な支援が必要な児童への支援の在り方に関するアンケートで、肯定的な回答の教員95%以上。 | <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育に関する研修会を年に5回実施する。 校内教育支援委員会を通して、情報共有を行う。 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 特別支援C |

| (2)本年度重点的に取り組む独自評価項目 | | | | 中間評価 | | 5 最終評価 | | | | 主な担当者 |
|----------------------|--|--|---|-------------|----------|-------------|------|---------|-------|-------|
| 重点取組 | | | 具体的取組 | 中間評価 | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | | |
| 評価項目 | 重点取組内容 | 成果指標 (数値目標) | | 進捗度 (評価) | 進捗状況と見通し | 達成度 (評価) | 実施結果 | 評価 | 意見や提言 | |
| ○情報教育の充実 | ○一人一台端末の日常的活用に向けた公開授業や研修の充実 ○職員間の活用率の差の低減 | ・年間5回以上の一人一台端末を活用した授業公開 ・年間5回以上の校内における情報教育研修の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 校内研究として全校的な活用の推進 実践例の共有、アプリケーション等の有効な使い方に関するOJTの実施 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ICT担当 |
| ○郷土を誇りに思う教育の実践 | ○外町小学校・唐津を好きになる教育活動の充実 | ○「外町校区が好き」「唐津が好き」に肯定的な回答をした児童90% | <ul style="list-style-type: none"> 外町ボランティアを中心とした、地域の人材を積極的に活用し、地域の方々や文化に触れる機会を多く設ける。 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 管理職 |

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

| | |
|----------------|-------------|
| 5 総合評価・次年度への展望 | ・ ・ ・ |
|----------------|-------------|